

【武生第三中学校 職場体験】



8/1・8/2 に、地域社会との連携を強化する一環として中学生の職場体験の受け入れをいたしました。

職場体験の期間中、生徒たちは水噴霧システムの業務に取り組みました。

- **現地寸法取り、設計図作図**

生徒たちは、作業員の指導の下、現地の寸法取りや簡単な工具の取り扱いを学び、現地寸法をもとに、CAD ソフトを利用した水噴霧配管の設計図を作成しました。

- **配管材の拾いと発注**

設計図をもとに、必要な配管材・継手材を集計しました。

加工管の製作も行い、水噴霧システムにどのような技術が使われているのかを学び、担当者からは、設計図をもとにした施工の流れや、建設資材の種類とその役割についての説明を受けました。

- **安全管理の重要性の理解**

建設業において最も重要な安全管理についても学びました。ヘルメットや作業服の着用、危険区域の確認など、安全対策がどのように実践されているのかを体験し、安全意識の大切さを実感してもらいました。



職場体験を通じての気づき

今回の職場体験を通じて、生徒たちは建設業の魅力とやりがいを理解し、働くことの意義を実感していました。同時に、私たち企業側も、若い世代が建設業に対して抱くイメージや関心を知ることができ、今後の業界発展に向けた人材育成の必要性を再確認する機会となりました。

今後の取り組み

今後も、地域の中학생たちに対する職場体験の受け入れを続け、受け入れ体制の整備や体験内容の充実を図り建設業の魅力を広く伝えていければと考えています。また、より多くの生徒が建設業に関心を持ち、将来の選択肢の一つとして考えるきっかけを提供していきます。

お礼と今後の展望

職場体験に参加した生徒たちには、暑い中積極的に取り組んでいただき感謝しています。この経験を通じて彼らが将来の職業選択や自己成長に役立てることを期待しています。また、地域との連携を深め、これからも社会に貢献できる企業として成長していきたいと考えております。